

科名：建築施工システム技術科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間／週
教育訓練課程	応用課程	施工関係法規	必須	I・II期	2	2
教科の区分	専攻学科					
教科の科目	施工関係法規					
担当教員		内線番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における施工管理業務、総合建設業における意匠設計業務 工務店(住宅)における施工管理業務、工務店(住宅)における意匠設計業務 設計事務所における生産管理業務、設計事務所における意匠設計業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
建築基準法、建設業法、工事請負約款、消防法及び民法等の建築施工・管理に関連する法規、諸手続き等を学びます。	①	建築基準法の体系について知っている。				
	②	建設業の許可について知っている。				
	③	請負契約と契約約款について知っている。				
	④	労働基準法について知っている。				
	⑤	労働安全衛生法について知っている。				
	⑥	住宅の品質確保促進法について知っている。				
	⑦	再生資源の利用の促進に関する法律について知っている。				
	⑧	道路交通法について知っている。				
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	建築生産に関わる建築基準法の規定や建築物の構造及び仕上げの構成と使用材料の種類について専門課程で学習してきたことを復習すると共に、そのポイントを整理しておくことが大切です。
授業科目についての助言	本科目は、建築を生産する上で、遵守しなければならない各種法令について、既に習得している建築基準法の知識に加え、建築施工・管理業務に関連する法規や諸手続きについて理解することを目標とします。そして、これらの関連法令は、施工の準備段階から竣工までの期間を通して現場運営する上で重要な事項であることを認識することが大切です。
教科書および参考書(例)	教科書：施工管理関係法令集(建設産業振興センター)
授業科目の発展性	<pre> graph LR A[施工法詳論] --- B[安全衛生管理] C[設備施工管理] --- B B --- D[安全衛生管理実習] B --- E[施工関係法規] D --- F[施工実習(標準課題実習)] E --- F F --- G[内装施工実習] </pre>

評価の割合								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度			60		30	10	100
	技能・技術の習得度			30				
	コミュニケーション能力			20				
	プレゼンテーション能力					30		
	論理的な思考力、推論能力			10				
	取り組む姿勢・意欲							10
	主体性・協調性							

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習		
1週	1. 建築基準法の体系 建築基準法の適用範囲	講義	建築物の構造別の特徴について復習してください。		
2週			建築法規の構成を調べてください。		
3週					
4週	2. 建設業法の体系 (1)建設業の許可 (2)請負契約と契約約款	講義	建築施工業務における関係法規との関わりについて調べてください。		
5週					
6週					
7週	3. 労働安全関連法規 (1)労働基準法 (2)労働安全衛生法				
8週					
9週	4. その他の法令 (1)住宅の品質確保促進法 (2)都市計画法 (3)再生資源の利用の促進に関する法律 (4)道路法、消防法				
10週					
11週					
12週					
13週	5. 課題演習 (1)課題設定と調査 (2)調査 (3)報告書作成			演習	建築基準法及び建設業法と建築生産の関わりを調べてください。 建築生産と関係法規の関わりについて調べてください。
14週					
15週					
16週					
17週					
18週	6. まとめ及び報告	講義、演習	建築生産と関係法規の関わりについて調べてください。		